

第 26 回協同組合女性交流会を開催しました！

2019 年 9 月 30 日(月)、パルひろば☆ちば(千葉市)において「第 26 回千葉県協同組合間提携女性交流会」を開催しました。千葉県生協連からパルシステム千葉から 6 人、生活クラブ生協より 6 人、コープみらいより 13 人、JA 千葉女性部協議会、千葉県漁協女性部連絡協議会の女性組合員リーダー、および千葉県協同組合提携推進協議会、生協連の事務局合わせて 49 人が参加しました。

この交流会は、農林水産業及び、生産現場での体験や暮らしに共通する課題の話し合い等の交流を通して、生産者と消費者が相互に交流することを目的に 1991 年より開催しています。今年は千葉県生協連が中心的に準備を進めました。



青木八重子さん

今回は、「男女共同参画の視点から考える、暮らしの防災・減災講座」と題し、男女共同参画の視点からの防災・減災をメインテーマに活動している、流山子育てプロジェクト代表 青木八重子さんから、家庭でできる防災、災害時の男女共同参画上の課題について、お話しいただきました。

初めに「災害時でも可能な限り、普段の生活を継続しましょう」と話され、家庭の防災で大切な 3 点、1. ケガをしない、2. 暮らしを維持する、3. 火災を防ぐ、を上げられました。そして、日頃から家庭内の危険箇所を点検し災害時のケガを防ぐことや、普段の生活の中で災害時の暮らしを維持するための備蓄や持ち出し品を備えることの大切さについて、クイズも交え、楽しく説明していただきました。



乾物や缶詰で作った防災食

また、男女共同参画の視点から「必要なのは、地域防

災への女性の参画です。紅一点でなく、せめて紅 3 点、一緒に地域の防災に関わりましょう」とお話しくださいました。



交流の様子

最後に各グループで話したことや感想などを全体で交流した後、青木さんの紹介して下さったレシピをもとに、防災食を実際に調理し試食しました。

千葉県では 9 月 15 日に台風 15 号による災害があったばかりだったので、参加された皆さんから「大変有意義だった。常備している乾物や缶詰から、おいしい防災食が簡単に作れることに驚いた」といった感想が寄せられました。